

## 冷水病に強く、河川を遡上しやすいアユ



～2種類のアユ系統を掛け合わせて作る広島県独自のアユ～

連携機関 | 広島県栽培漁業協会

研究期間 | 平成23年度[県費研究(調査研究)]

### 研究開発のきっかけ

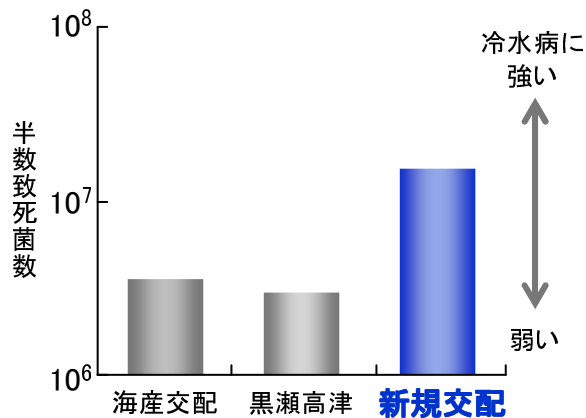
- ◆ 河川に放流するアユには、冷水病\*に強く、川を遡上しやすい(上りやすい)性質が求められています。
- ◆ 水産海洋技術センターは、冷水病の病原菌の知見など、アユに関する技術やノウハウを有しています。
- ◆ この技術やノウハウを活用し、冷水病菌に強く、川を遡上しやすいアユを作り出すことができました。

\* 冷水病(れいすいびょう)は、もともと北米のマスの病気で、低水温期の稚魚に発生し、死亡率が高い感染症。アユでは昭和62年(1987年)に徳島県の養殖場で発生し、全国に広がっている。

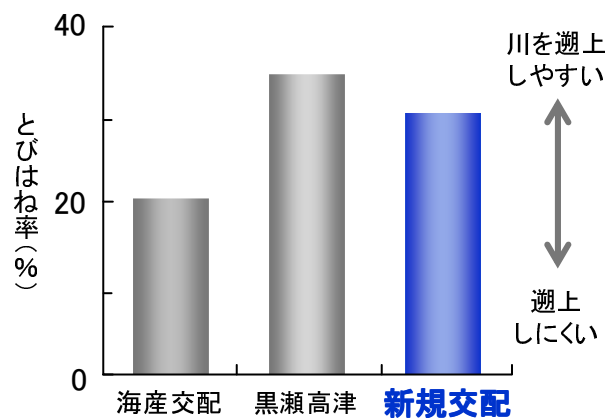
### 研究成果の概要

- ◆ これまで河川に放流されてきた「海産交配アユ」と、天然アユ由来の「黒瀬高津アユ」を掛け合わせて、「新規交配アユ」を作出しました。
- ◆ 「新規交配アユ」は、冷水病に対する抵抗力が「海産交配アユ」よりも高く、川を遡上する性質も天然アユの「黒瀬高津アユ」に近いものがありました。
- ◆ 「新規交配アユ」は、毎回、同じ掛け合わせで交配して生産しなければなりません。2種類の親を所有している広島県だけが生産できる独自のアユです。

■ 冷水病の抵抗力アップ



■ 天然のアユに近い遡上力



### 研究成果の活用状況

- ◆ 「新規交配アユ」は広島県栽培漁業協会にて種苗生産され、アユ中間育成場を経て県内の一部河川に試験放流されています。
- ◆ 「新規交配アユ」は生残性および遡上性で、高い評価を得ています。